

取扱説明書

rev.0

エバラ超微細粉塵用定置式集塵機
E J D 1 2 5 0 F 型

目次

- はじめに 1
- 安全上のご注意 2
 - 危険 2
 - 警告 2
 - 注意 2
- 留意事項 3
- 仕様及び構造・名称 4～5
- 日常点検
 - 運転準備 6
 - 運転の手順 7
 - 停止の手順 8
- メンテナンスについて 8～11
- 使用中に不具合が発生した場合 12～13
- 電気回路図 14～15
- 内蔵機器取扱説明書（抜粋資料） 16以降

このたびはエバラ定置式集塵機をお買あげいただき誠にありがとうございます。当社では、この製品を安心して、ご使用いただけますよう細心の注意をはらって製作しておりますが、その取扱いを誤りますと思わぬ事故を引き起こすこともありますので、この取扱説明書にしたがい正しくご使用くださいますようお願いいたします。

- 取扱説明書は必ずお読みになって、ご使用中はいつでも確認できるよう本体の近くに必ず保管してください。
- 取扱説明書は製品の安全操作に関するためのものです。思わぬ人身事故や火災等の事故を防止するため、本文の警告事項は必ず守ってください。
- 本取扱説明書に記載した範囲外でご使用の場合は、弊社までご相談ください。

はじめに

集塵機がお手元に届きましたら、すぐに次の点をお調べください。

- (1) ご注文通りのものか、どうか銘板を見てご確認ください。
- (2) 搬送中の事故で破損箇所がないかどうか、ボルトやナットがゆるんでいないかどうかご確認ください。
- (3) 付属品がすべてそろっているかどうかご確認ください。

万一不具合な点がありましたら銘板記載事項を明示してご注文先までご照会ください。

安全上のご注意

(重要事項ですので必ずお守りください。)

- お守りいただかなければならない内容を下記の絵表示で区分しています。
誤ったご使用は絶対になさらないでください。



この表示はしてはいけないことを意味しております。



この表示はしてはいけないことを意味しております。

絵表示について

- この取扱説明書及び本体には、安全にご使用いただくため、いろいろな絵表示を使っております。お使いになる人や他の人への損害を未然に防止するため、その絵表示の意味を十分にご理解のうえ、ご使用願います。
○ 絵表示は表示内容が無視した使い方をしたときに発生する危害や損害の程度を説明しております。



危険

この表示の欄は「死亡または重傷を負う危険がある」内容です。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



危険

火災、爆発事故の原因となりますので
次のものは絶対に吸引させないでください。

- 下記の粉塵爆発がある粉塵には、使用できません。

- アルミニウム、マグネシウム、チタン、アルミニウムブロンズなどの爆発性粉塵。
○ 亜鉛、コークス、カーボンブラック、砂糖、ゴム、小麦、硫黄、ココア、染料、ポリエチレン、米ぬか、フェノール樹脂、とうもろこしなどの可燃性粉塵。
○ ガソリン、シンナー、灯油などの引火しやすいもの（第一、第二石油類）



警告

- 本製品は乾燥粉塵対象です。ヒューム・ミスト・ガスや水・油などの液体、引火性物質・爆発性物質を吸引すると故障、事故の原因となります。
○ サンダー、グラブナー、溶接から出る火花を含んだ粉塵は直接吸引しないでください。火災の原因となります。
○ 集塵機の付近には可燃物を置かないでください。火災の原因となります。
○ ガソリンやシンナーなどの可燃物置き場の近くには設置しないでください。火災の原因となります。
○ 万一集塵機に何らかの不具合、故障が生じた場合には直ちにスイッチを切り、使用を中止してください。
○ 焼け焦げた匂いや煙が発生したら、すぐスイッチを切り、使用を止めること。火災の原因となります。
○ ファンの回転部に手や物を絶対に入れないこと。人身事故や破損及び故障の原因となります。

5. インバータ・エラーコード 一覧表

異常表示一覧

異常表示	異常表示	異常表示	異常表示	異常表示	異常表示
E---	E---	アラーム履歴	---	122	
HOLD	HOLD	操作パネルロック	---	110	
LOCd	LOCd	パスワード設定中	---	110	
Er1~Er4	Er1~Er4	パラメータ書き込みエラー	---	110	
rE1~rE4	rE1~rE4	コピー操作エラー	---	111	
Err.	Err.	エラー	---	111	
OL	OL	ストール防止 (過電流)	---	112	
oL	oL	ストール防止 (過電圧)	---	112	
rb	rb	逆起電力キブリアラーム	---	113	
TH	TH	電子サーマルブリアラーム	---	113	
PS	PS	PU停止	---	112	
MT	MT	メンテナンス信号出力	---	113	
CP	CP	パラメータコピー	---	113	
Fn	Fn	ファン故障	---	113	
EOC1	EOC1	加温中過電流遮断	16 (H10)	114	
EOC2	EOC2	定温中過電流遮断	17 (H11)	114	
EOC3	EOC3	減速、停止中過電流遮断	18 (H12)	115	
EOV1	EOV1	加温中過電圧遮断	32 (H20)	115	
EOV2	EOV2	定温中過電圧遮断	33 (H21)	115	
EOV3	EOV3	減速、停止中過電圧遮断	34 (H22)	115	
ETHT	ETHT	インバータ過負荷遮断 (電子サーマル)	48 (H30)	116	
ETHM	ETHM	モータ過負荷遮断 (電子サーマル)	49 (H31)	116	
EFIn	EFIn	フィン過熱	64 (H40)	116	
EJPF	EJPF	瞬間停電	80 (H50)	116	
EUUV	EUUV	不足電圧	81 (H51)	117	
EILF	EILF	入力欠相	82 (H52)	117	
EOLT	EOLT	ストール防止による停止	96 (H60)	117	



異常表示一覧

ESOT	ESOT	誤検出	97 (H61)	117	
EGF	EGF	出力側地絡過電流	128 (H80)	118	
ELF	ELF	出力欠相	129 (H81)	118	
EOHT	EOHT	外部サーマル動作	144 (H90)	118	
EPTC	EPTC	PTCサーミスタ動作	145 (H91)	118	
EOPT	EOPT	オプション異常	160 (H40)	118	
EOPI	EOPI	過電圧オプション異常	161 (H41)	119	
E.1	E.1	オプション異常	241 (HF1)	119	
E. PE	E. PE	パラメータ記憶異常	176 (H80)	119	
EPUE	EPUE	PU抜け	177 (H81)	119	
ERET	ERET	リトライ回数オーバー	178 (H82)	119	
EPE2	EPE2	パラメータ記憶異常	179 (H83)	119	
E.5	E.5	CPUエラー	245 (HF5)	120	
E.6	E.6	CPUエラー	246 (HF6)	120	
E.7	E.7	CPUエラー	247 (HF7)	120	
ECTE	ECTE	操作パネル用電源短絡、RS-485端子用電源短絡	193 (HC1)	120	
EP24	EP24	DC24V電源出力短絡	194 (HC2)	120	
ECDO	ECDO	出力電流検出値オーバー	196 (HC4)	120	
EIOH	EIOH	突入電流抑制回路異常	197 (HC5)	120	
ESER	ESER	過電流異常 (本体)	198 (HC6)	120	
EAIE	EAIE	アナログ入力異常	199 (HC7)	121	
EPID	EPID	PID信号異常	230 (HE6)	121	
E. BE	E. BE	ブレーキトランジスタ異常検出	112 (H70)	117	
E.13	E.13	内部回路異常	253 (HFD)	121	

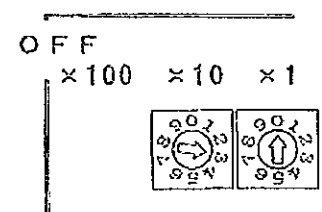
* FR-PU04使用時にエラーが発生した場合、FR-PU04には「エラー14」が表示されます。

7.5 パルス OFF 時間の設定

- ① ディップスイッチ (OFF) によりパルス OFF 時間を設定する。
(精密マイナスインプー等で設定してください。)

- ② 2桁の数字×1秒(時間レンジ)となります。

例：30秒



(図7-9)

※出荷時は“45秒”に設定しています。

- ② ジャンパー(J2)の差し込むことにより、時間レンジを変更できます。

J2	時間レンジ	設定可能時間
OFF	×1秒	1～99秒
ON	×10秒	10～990秒

⚠ 注意

- ⊗ 本製品は乾燥粉塵対象です。ヒューム・ミスト・ガスや水・油などの液体、引火性物質・爆発性物質を吸引すると故障、事故の原因となります。
- ❶ 水平で平坦な場所に設置してください。
不安定な場所に設置しますと、振動や故障の原因となります。
- ❶ お手入れの際は各スイッチを切り、ファンが完全に止まってから行ってください。
ケガの恐れがあります。安全のため保護メガネとゴム手袋を着用してください。
- ❶ フィルターは正しくセットされているか、また破損がないか確認してください。フィルターが外れていたり、破損の状態のまま使用しますとファン破損の原因となります。
- ❶ 必ずフィルターを取付けた状態で運転してください。
フィルターなしで運転しますと、ファン及びモーター破損の原因となります。
- ❶ 脱塵しやすく、粉塵排出のしやすい方向に設置してください。
- ⊗ 薬品などがフィルターに付着したとき、粘着または固着するものは、吸引しないでください。目詰まりや、故障、事故の原因となります。
- ❶ アース線は必ず接続して、漏電遮断機を必ず設置してください。アース線はガス管、避雷計、電話のアース線には接続しないでください。漏電のとき感電する恐れがあります。
- ❶ モーターは正回転(矢印の方向)でご使用ください。
逆回転で使用しますと吸引力が低下し、ファン及びモーター破損の原因となります。
- ❶ モーター出力に対して適切な電線の太さをご使用ください。
- ⊗ 本機に張付してあるシールプレートは剥がさないでください。
- ❶ 許可なく機械の改造を行った場合は責任を負いません。
移設で本機を移転する際、全体が重いので倒れないように運搬にはご注意ください。

留意事項

- 集塵機に溜まった粉塵は毎日、廃棄してください。(清掃方法は、8頁「5. メンテナンスについて」を参照してください。)
- 修理は必ず、技術者にご相談ください。本製品の機能を損なうような改造は、絶対におやめください。
- 局所排気装置及び除塵装置の定期点検は労働安全衛生法より1年に1回以上と義務付けられています。
- アフターサービス、定期点検については、ご不明な点は弊社にご相談ください。

1. 仕様及び構造・名称

1. 仕様

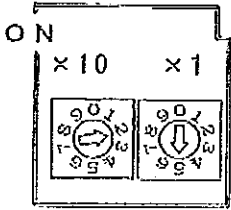
名 称	仕 様
処理風量※1	1229m ³ /min
運転・起動方式	インバーター制御運転方式
風量制御方式	インバーター手動風量制御方式
ファン	型式 : SMP30N-4P-No6 75KW/200V/60HZ
1次フィルター	ろ過精度 : 0.3μm×20% ろ過面積 : 14m ² /本×40本=560m ² 素材 : ポリエステル 寸法 : φ320mm×L1100mm/個 員数 : 40個 再生方式 : エアーパルス自動再生方式
活性炭フィルター	活性炭 : フェルト状活性炭フィルター ろ過面積 : 1.44m ² /個×22個=31.6m ² 寸法 : W392mm×H755mm×D65mm 員数 : 22個
HEPAフィルター※2	ろ過面積 : 0.3μm×99.97%以上 処理風量 : 56.25m ³ /min/個×22個=1237.5m ³ /min 素材 : マイクログラスファイバー 寸法 : W392mm×H755mm×D292mm/個 員数 : 22個
ベピコン	吐出空気量 : 625リットル/min(60HZ) 吐出圧力 : 0.93MPa 出力 : 5.5KW/200V
レシーバタンク	全容量 : 40リットル 使用圧力 : 0.93MPa
設計重量	フィルター室 : 5,900kg ファン室 : 3,000kg 総重量 : 8,900kg

※1 ファン運転周波数60Hz。

※2 フィルター型式P-YH9755392V012 (パナソニックエコシステムズ大阪株式会社)
0.3μm×99.97%以上。

7.4 パルス ON 時間の設定

- ① ディップスイッチ(ON)によりパルスON時間を設定する。
(精密マイナスインプラー等で設定してください。)
② 2桁の数字×0.01秒(時間レンジ)となります。
例 : 0.25秒



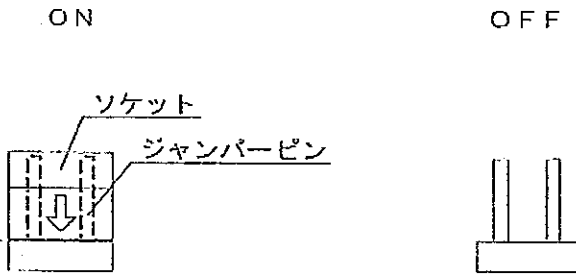
(図7-7)

※出荷時は“0.3秒”に
設定しています。

- ② ジャンパー(J3、J4)の差し込みの組み合わせにより時間レンジを変更できます。

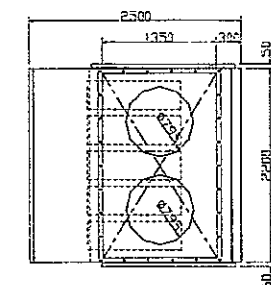
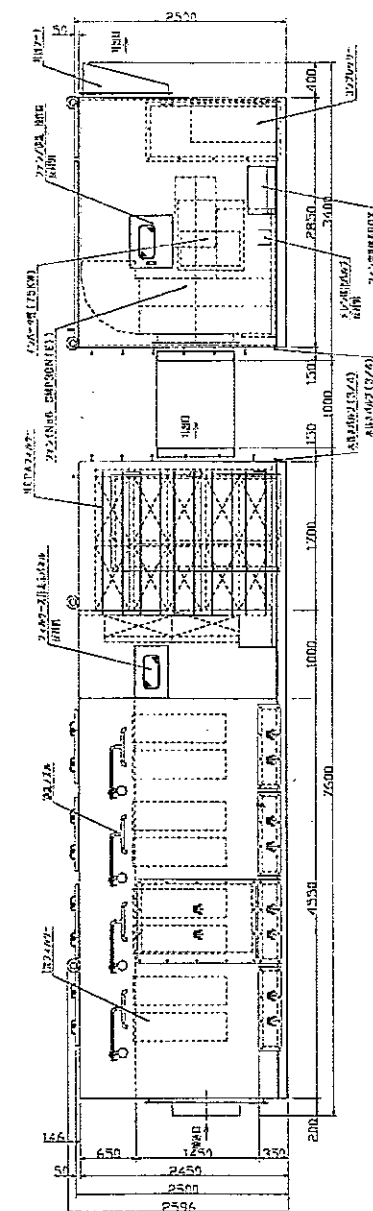
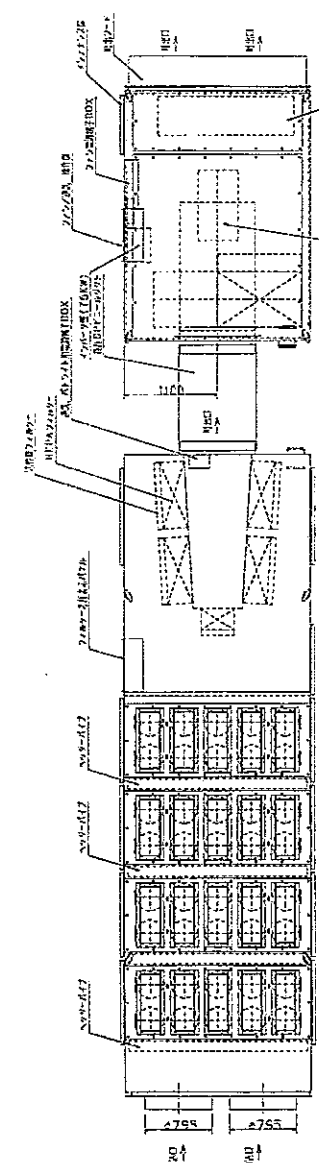
J3	J4	時間レンジ	設定可能時間
OFF	OFF	×0.01秒	0.01~0.99秒
OFF	ON	×0.1秒	0.1~9.9秒
ON	OFF	×1秒	1~99秒
ON	ON	×10秒	10~990秒

- ③ ジャンパーピンにソケットを差し込んだ状態で ON となります。
(他ジャンパーも同様)



(図7-8)

2. 構造及び名称



140

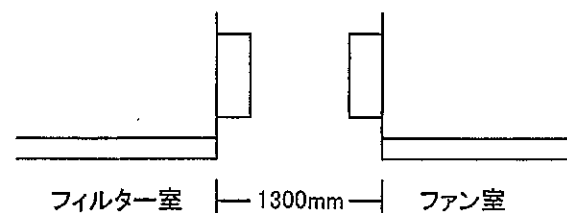
(圖2-1)

- | | | | | |
|---|----------|--------------|------------------------------|--------|
| ① | ディップスイッチ | (SW3) | 単独／マスター／スレーブ動作を切換える。…………… | 8, 9 |
| ② | " | (SW2) | 2度打ちまたはインターバルタイマを設定する。…………… | 13, 14 |
| ③ | LED | (LED1～10(6)) | パルスON時点灯する。 | |
| ④ | ジャンパー | (J1～5) | 各機能を設定する。(J6使用不可) …………… | 11～17 |
| ⑤ | ディップスイッチ | (ステップ) | ステップ数を設定する。…………… | 10. |
| ⑥ | " | (ON×10) | パルスON時間を設定する。…………… | 11 |
| ⑦ | " | (ON×1) | " …………… | 11 |
| ⑧ | " | (OFF×10) | パルスOFF時間を設定する。…………… | 12 |
| ⑨ | " | (OFF×1) | " …………… | 12 |
| ⑩ | LED | (POWER) | 電源ON時点灯する。 | |
| ⑪ | 端子台 | (TB4) | 外部シーケンス入出力端子および停止入力端子…………… | 9, 16 |
| ⑫ | 電源スイッチ | | 電源スイッチ | |
| ⑬ | ヒューズ | | 250V 3A | |
| ⑭ | 端子台 | (TB1) | バルブ出力端子(SV1～6)およびAC入力端子…………… | 6 |
| ⑮ | 端子台 | (TB2) | " (SV7～10) (OMC2-6は無し。) | |

2. 運転前の準備

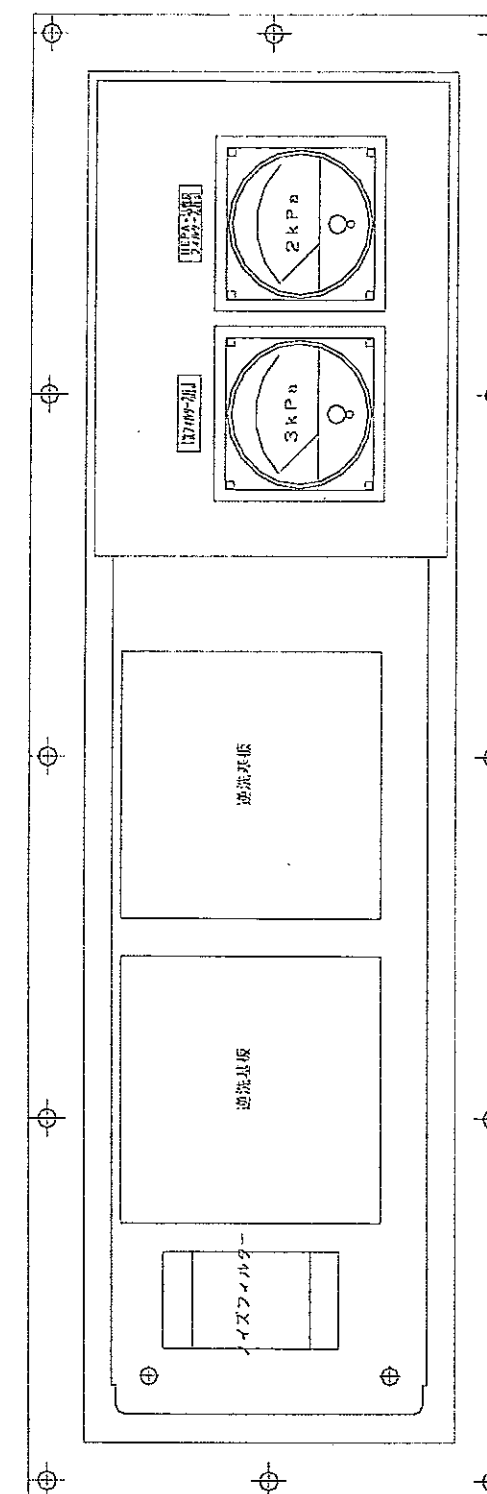
1. 設置場所について

集塵機本体は水平に設置して下さい。傾斜した場所では振動などにより移動する恐れがあります。ファン室とフィルター室の設置間隔は、ベース間隔を約1300mmにして設置して下さい。



2. 本体を吊り上げる場合は、上部の吊りフックを利用して、重量に対して充分な強度を持ったワイヤーでバランス良く吊り上げて下さい。
3. フィルター室とファン室の接続ダクトについて
専用の負圧ダクト(φ920mm×L1300mm)で接続して下さい。
エアーが漏れないかご確認下さい。
※ファン吸込口には金網がありません。安全のために負圧ダクトを必ずつけてから運転して下さい。
4. 吸込用ダクトについて
吸込用ダクトは、必ず接続して使用して下さい。エアー漏れがないかご確認下さい。
コンクリートの破片、小石、ウエスなどを吸い込ませないようにして下さい。
5. 引火性のある第1、2種石油類などの可燃性ガスには使用出来ません。
また、タバコ等火の付いたものなどを吸い込ませないでください。
6. 1次側電源ケーブルは電気容量に対して充分に余裕のあるものにして、ファン室の電源用端子に接続して下さい。
アース線は必ず接続して下さい。
7. フィルター室側の逆洗用電源端子には、ファン室側の逆洗用端子から専用電源ケーブルで接続して下さい。
※ケーブルは“1.25sq以上×5c×5m(アース線含む)”。
8. ファン室の逆洗エアー用プラグとフィルター室の逆洗エアー用プラグを付属の高圧エアーホースで接続して下さい。
※エアーホースは専用ホース2m(両端ハイカブラ付)
9. 1, 2, 3次フィルターを付けない状態での運転をしないで下さい。

3. フィルター差圧監視パネル図



4. 停止の手順

1. ファン操作盤の停止ボタンを押して下さい。
…… 運転ボタンの緑色のランプが消灯します。
 - ・ ファンはフリーラン後に停止します。
 - ・ フィルター逆洗運転は20分間継続運転し、自動停止します。
- …… コンプレッサー運転ランプと逆洗運転ランプが消灯します。
※作業終了後は、ファン室操作盤下部のドレン排出用バルブを開いてドレンを排出して下さい。
ドレン排出後は、再びバルブを閉めて下さい。

5. ファン停止中の脱塵作業

ファン停止時のフィルターの脱塵作業は下記の要領で実施して下さい。

1. ファン操作盤「逆洗動作設定」の“手動一切ー自動切替スイッチを“手動”に設定して下さい。
2. 逆洗運転ボタンを押して下さい。
…… コンプレッサーが起動してコンプレッサー運転ランプが点灯します。
3. 4分後に脱塵作業を実施します。
…… 逆洗運転ランプが点灯します。
※逆洗作業を停止する場合は“逆洗停止ボタン”を押して下さい。
…… コンプレッサーが停止して、“コンプレッサー運転ランプ”と“逆洗運転ランプ”が消灯します。
※作業終了後は、ファン室操作盤下部のドレン排出用バルブを開いてドレンを排出して下さい。
ドレン排出後は、再びバルブを閉めて下さい。

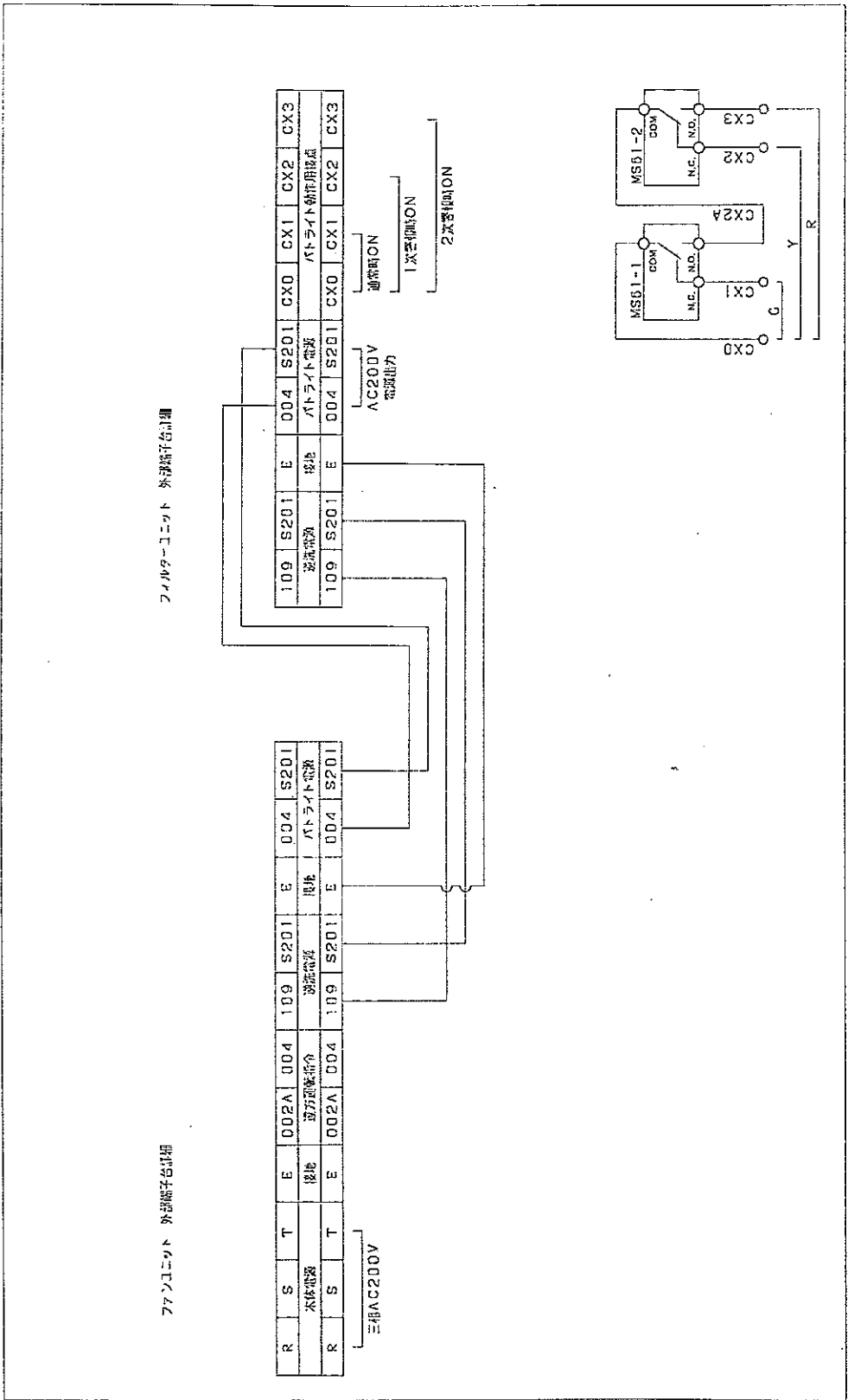
6. メンテナンスについて

※ご使用上の注意

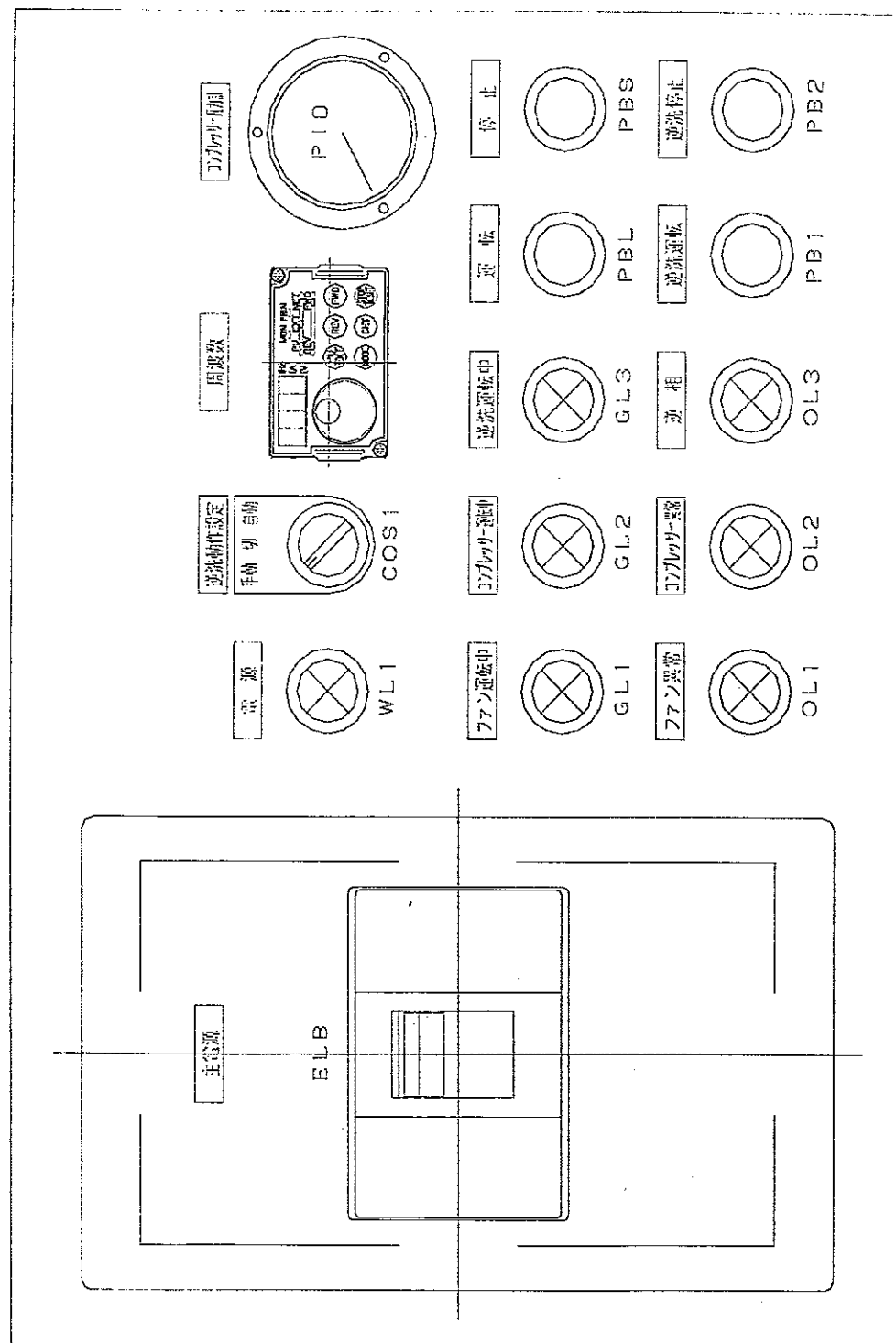
安全のため電源は必ず切ってから実施して下さい。
ダストの回収、フィルターの交換等の保守点検には、ダストの性状によっては、
保護具の着用等が義務付けられている場合があります。法令に従って行って下さい。

1. ダストバンカーの粉塵回収

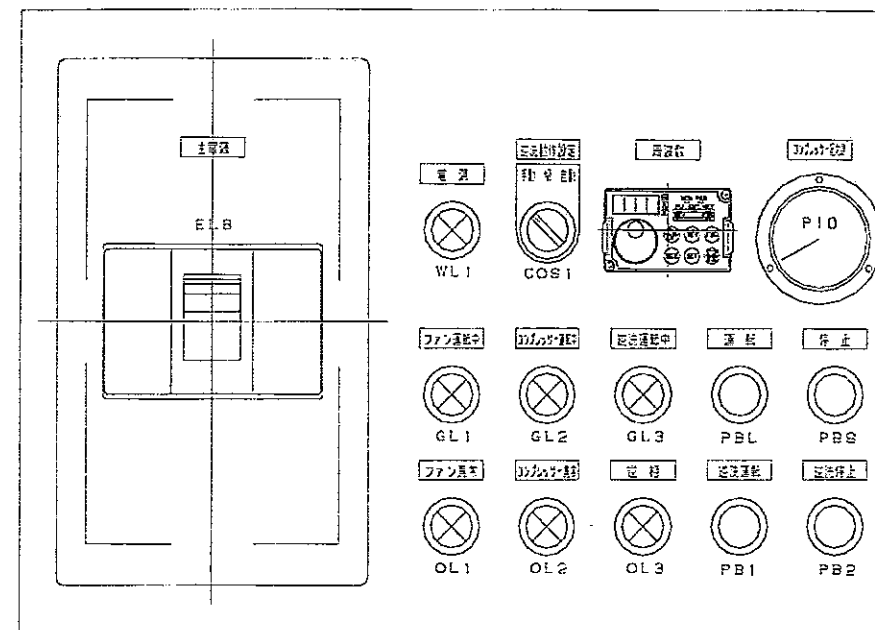
ファン及びフィルター逆洗停止時にダストバンカー取り出し用扉を開けて本体内のダストバンカーを取り出し溜まった粉塵を回収して下さい。



2. ファン操作盤図



3. 運転の手順



1. 1次側電源を投入して下さい。
…… ファン室の操作パネルの電源ランプが点灯します。
2. ファン操作盤の電源ブレーカーを入れて下さい。

※ファン操作盤内には、逆相防止リレーが内蔵されてます。
1次側配線が逆相の場合には、逆相ランプが点灯します。
この場合には、1次側の配線で相入れ替えを実施して下さい。
3. ファン操作盤「逆洗動作設定」の“手動一切ー自動”切り替えスイッチを“自動”に設定して下さい。
※運転ボタンを押すとファンの運転とフィルターの逆洗運転を開始します。
4. ファン操作盤の運転ボタンを押して下さい。

①ファン操作盤の緑色の運転ランプが点灯します。
・ファンが起動してゆっくりと回転数をあげて設定された周波数運転に入ります。
※ファンの運転周波数は、20～60HZの範囲で設定が出来ます。
周波数の調整はファン操作盤の周波数調整つまみで行って下さい。

②ファン操作盤のコンプレッサー運転ランプが点灯し、4分後に逆洗運転ランプが点灯します。

- ・ ファン室内に内蔵されているコンプレッサーが起動します。
- ・ その4分後からパルスジェット方式による自動運転脱塵を開始します。
- ・ パルスジェットの基本脱塵間隔は45秒に設定されております。

コンプレッサーの圧力は、0.50kPa～0.60kPaの範囲で自動脱塵します。

※ なお、パルスジェットの脱塵間隔の設定変更は、フィルター室パネルに内蔵されているパルスコントローラー基盤を取扱説明書に基づいて調整して下さい。

③ 1次フィルターの取り付け方

取り付けは、前記と逆の手順で行って下さい。

※1次フィルターは、1回／月目詰まり、破損の有無を確認して下さい。
目詰まりや破損がありましたら交換して下さい。

3. 2次・3次フィルターの清掃・脱着の手順

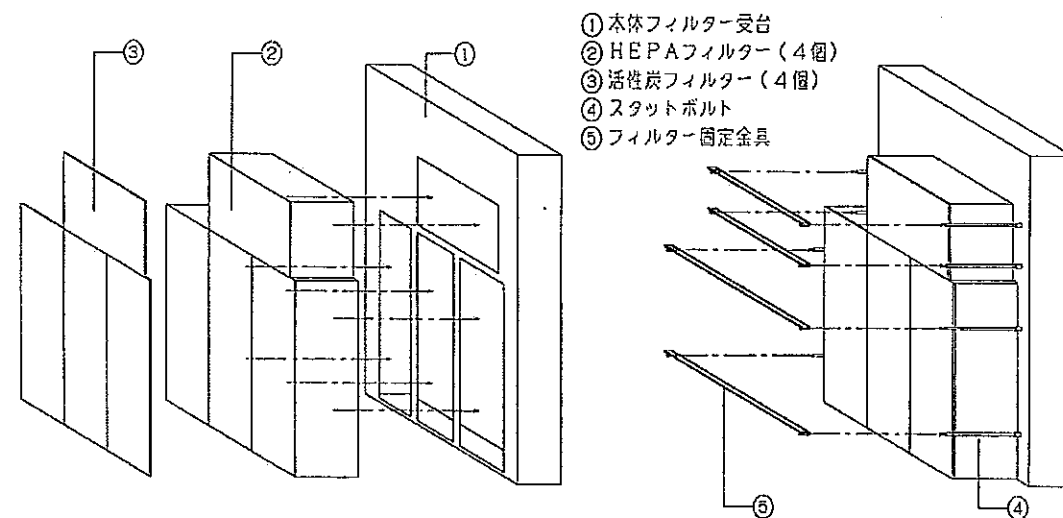
超微細粉塵対策として、2次フィルター(活性炭フィルター)と3次フィルター(HEPAフィルター)が取り付けられています。

両フィルターとも清掃等により再生できません。

両フィルターともに段々と目詰まりして行きます。使用限界が来たら交換して下さい。

交換時期は、活性炭・HEPAフィルターの差圧“1.5kPa”が目安です。

① フィルターの取り外し方



フィルター室のメンテナンスドアを開けて作業します。

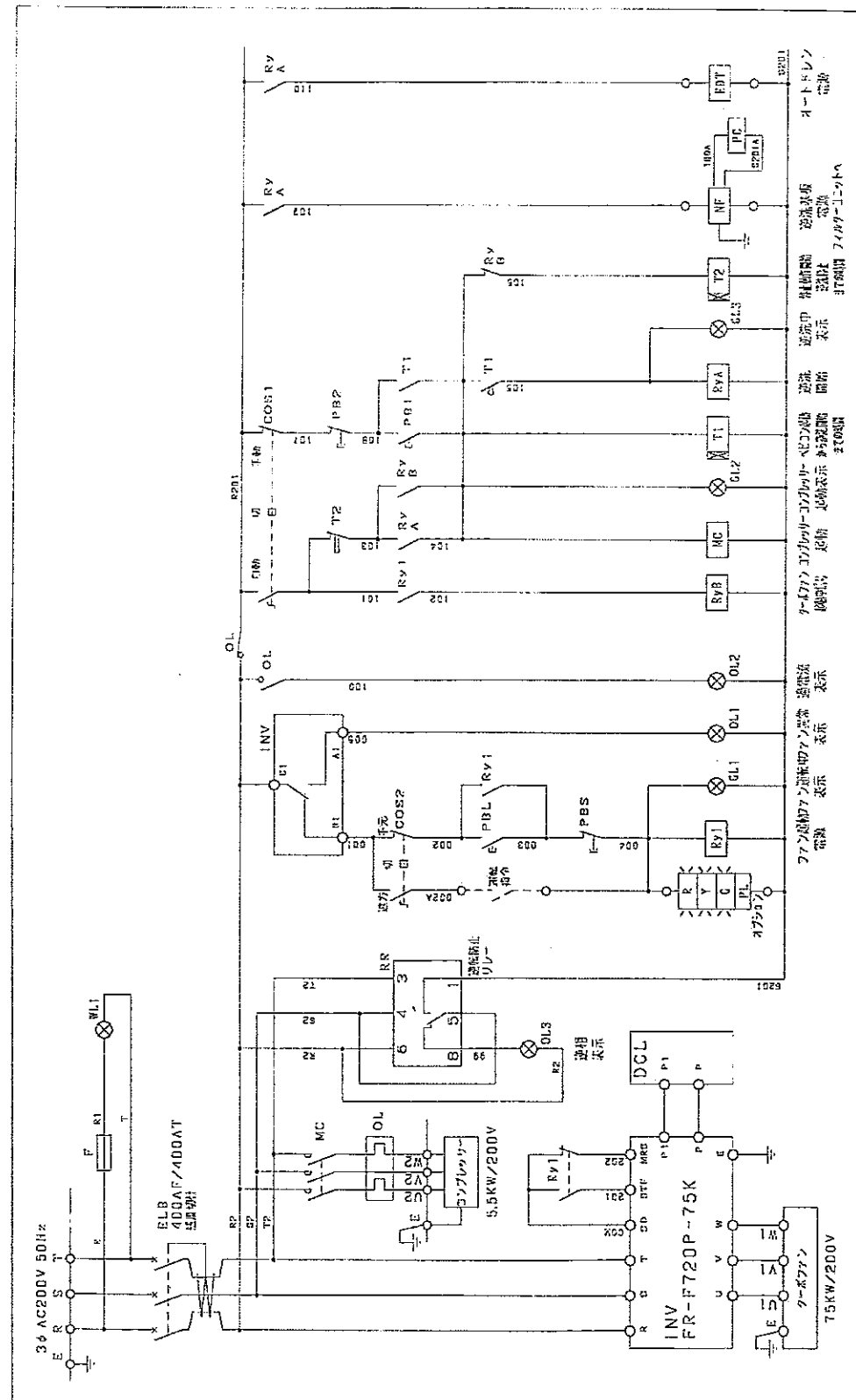
1. フィルター固定金具⑤を固定用スタッドボルトのネジを緩めて外して下さい。
2. 固定用スタッドボルト④を回して取り外して下さい。
3. 活性炭フィルター③、HEPAフィルター②の順に取り外して下さい。

② フィルターの取り付け方

前記の逆の手順で行って下さい。

特に、HEPAフィルターは精密なフィルターなので、ろ材を傷つけたり破ったりしないように十分注意して取り扱って下さい。

1. 電気回路図



2. 1次フィルターの清掃・脱着の手順

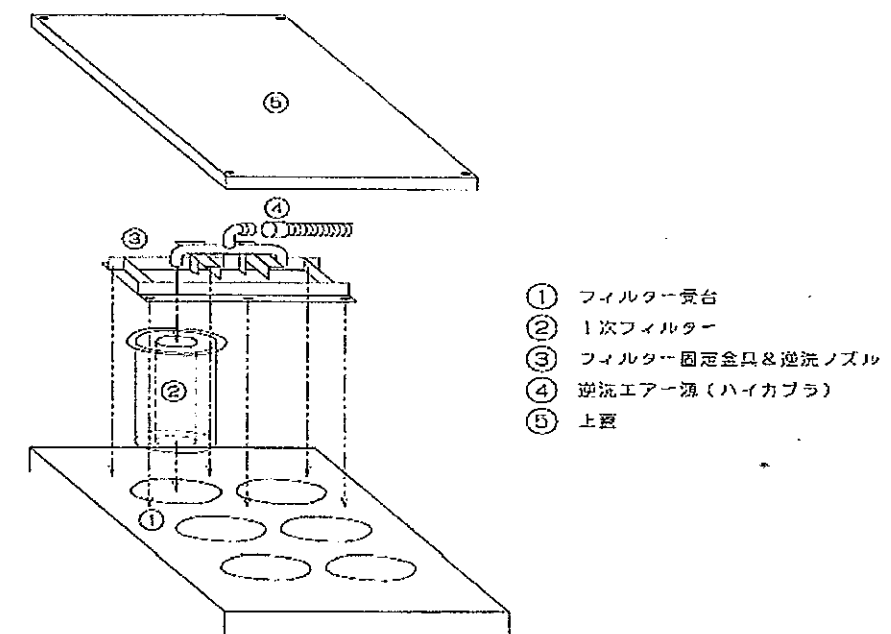
※作業上の注意

- ・ フィルター室後部の逆洗エア用カプラーを引き抜いて残圧を抜いてから作業を開始して下さい。

通常運転時は、フィルター操作パネルの逆洗運転時に自動脱塵操作を繰り返し吸引風量を持続させながら運転が出来ます。

フィルター清掃の目安は、フィルターパネルの1次フィルター差圧が“2.5kPa”に達し、吸引風量が弱くなったら、1次フィルターを取り出して点検清掃してください。

① 1次フィルターの取り外し方



- ① フィルター受台
- ② 1次フィルター
- ③ フィルター固定金具&逆洗ノズル
- ④ 逆洗エア源(ハイカブラ)
- ⑤ 上蓋

1. 本体の上蓋⑤を取り外します。
2. エア配管のカプラー④を外して下さい。
3. バルブが固定されているフィルター押さえ金具の固定ボルトを外して下さい。
4. フィルター押さえ金具③を取り外して下さい。
5. フィルター本体②を傷つけないように取り出して下さい。

② 1次フィルターの清掃の方法

フィルターを清掃する場合は、表面を傷つけないように柔らかい材質のブラシ等で軽くブラッシングしながら汚れを落として下さい。

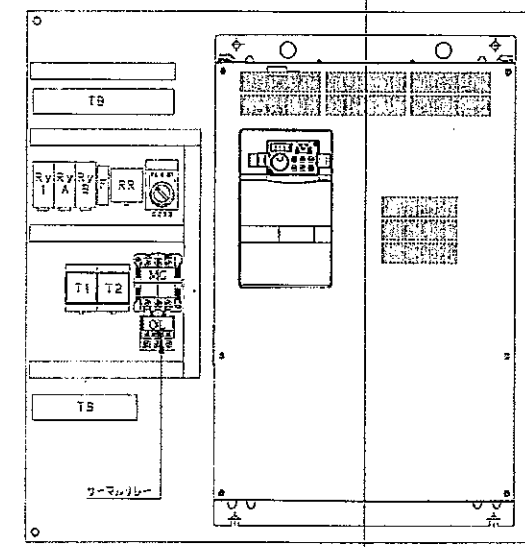
また、水洗浄をする場合には完全に乾燥させてから再使用して下さい。

4. コンプレッサのサーマル保護について

コンプレッサは、過負荷になるとサーマルリレーが作動して停止します。

- ・ ファン操作パネル内のコンプレッサ異常ランプが点灯し、同時に1次フィルターの自動逆洗運転も停止します。
- ・ ファンは継続して運転します。

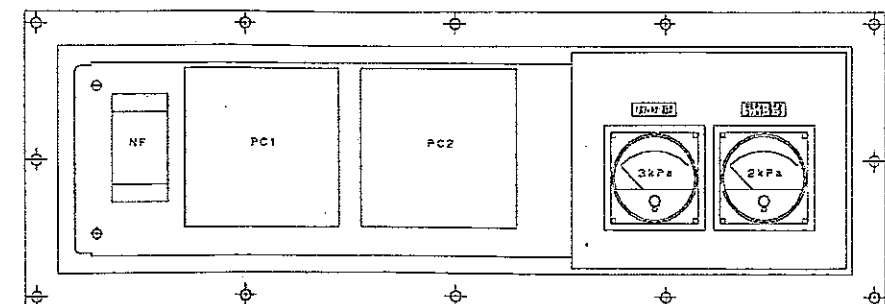
コンプレッサが過負荷によりサーマルトリップした場合は、一旦ファンを停止して、ファン室後部のメンテナンスドアを開けて、右側機器パネル内のサーマルリレーを復帰させて下さい。



5. 逆洗コントローラーパネル基板の調整について

フィルター監視パネル蓋を開けて、基板上的のスイッチにて調整します。
付属資料のコントローラー取扱説明書を参照して下さい。

※逆洗の間隔やON・OFF時間は、コンプレッサ圧力が0.60kPa以下に下がらずに
ロード・アンロードを繰返す範囲で調整して下さい。
コンプレッサ圧力が下がり過ぎると逆洗効果が低下します。



7. 使用中に不具合が発生した場合

万一集塵機に何らかの故障が生じた場合には、直ちに電源スイッチを切り、使用を中止して下さい。

状 況	原 因	処 置
送風機が動かない。	1. 電源がきていない。 2. 逆転防止装置が作動した。 3. インバーターの保護回路が作動した。 (過電流・過電圧等)	1. 電源を入れる。 2. 電源側の2相を入れ替える。 3. 保護機能を操作盤の表示パネルで確認する。 保護内容を確認したら原因を解消してから、リセットして再起動する。
送風機が停止した。	1. 電源が切れた。 2. インバーターの保護回路が作動した。 (過電流・過電圧等)	1. 電源側の断線等をチェックする。 2. 保護機能を操作盤の表示パネルで確認する。 保護内容を確認したら原因を解消してから、リセットして再起動する。
逆洗動作をしない。	1. 専用電源ケーブルの断線。 2. 逆洗運転用基板の不良。 3. エアー配管の漏れ。 4. コンプレッサーの停止。	1. 断線及び配線チェックをして手直しして下さい。 2. 基板の点検及び交換が必要です。 3. エアー漏れ部の手直しをして下さい。 4. コンプレッサーを点検して下さい。
吸込力が弱い。	1. フィルターが目詰まりしている。 2. 大きなゴミが入った。 3. フィルターの汚れが酷く粉塵が落ちなくなった。	1. 1次フィルターを払い落として下さい。 2, 3次フィルターは交換して下さい。 2. 吸込ダクトを外して取り除いて下さい。 3. フィルターを交換して下さい。
排気口より粉塵が漏れる。	1. フィルターの取付け状態が悪い。 2. フィルターが破損している。	1. フィルターの取付け状態を確認する。 2. フィルターを交換して下さい。

コンプレッサーの圧力が上がらない。	1. 高圧配管ラインのエアー漏れによる圧力低下。 2. パルス用ダイヤフラムバルブに異物が混入してきちんと閉鎖しない。 3. 過電流によりサーマルリレーが動作し停止した。	1. エアー漏れ部を手直して下さい。 2. 異物を除去して下さい。 3. サーマルリレーのリセットボタンを押して下さい。
-------------------	---	--

※インバーター保護機能の確認と内容及び推定原因は別紙のインバーター保護機能一覧表を参照して下さい。

8. 付属資料

- 1. 電気回路図
- 2. ファン操作盤図面
- 3. フィルター差圧監視パネル図
- 4. エアーパルス基板設定変更要領
- 5. インバーターエラーコード一覧表